

令和4年度事業計画書

一般社団法人 粒子線治療推進研究会

基本方針

重粒子線がん治療の普及啓発の推進を図るとともに粒子線治療を促進するすべての機関と連携して、我が国のみならず世界の人々が、広く粒子線治療を享受できる環境づくりに貢献することを目的として、重粒子線治療の海外展開の普及に努めるとともに国内外の重粒子線治療施設導入計画・人材育成の支援を行う。

更に同事業の一環として重粒子線治療は、海外では認知度が低く、海外向けの情報が少ないため、認知度の向上を目的に海外に向けた重粒子線治療の各種普及啓発活動を行うとともに国際貢献の一環として海外（特に中国）への日本式がん検診事業、粒子線治療を含む外国人患者の日本の医療機関での受入等の相談支援を行う。

事業運営方針

新型コロナウイルスの影響により収入の根幹部分である国際協力事業として行っている外国人患者支援に係る収入が昨年引き続き激減したことで、本会の今後の事業運営に大きな支障となっており存続にも影響が及んでいる。

令和4年10月頃までに現状が回復しない場合、また新規事業のめどが立たない場合は、令和4年度末で本会をいったん休眠または解散する事を検討する。

I. 総務事項

社員総会は毎年6月1回開催するほか必要に応じ臨時に開催する。また理事会を定時に各2回開催するとともに、必要に応じ臨時に開催し、事業運営に関する重要事項について審議し、決定する。また、運営会議等において所要の議題について審議・検討を行う。

II. 普及啓発の推進・支援事業

国内並びに海外に向けた重粒子線治療の広報・普及活動を展開する。

1. 重粒子線治療の普及のためのホームページの改定等

2. 中国人などの海外医療関係者の国内施設見学等の支援
3. 海外のがん患者の重粒子線治療の適応拡大のためのがんの早期発見を目指す日本式がん検診支援

III. 人材の育成・支援事業

中国の放射線治療の若手がん専門医等に対して重粒子線治療の有効性を理解してもらい、今後中国からの重粒子線治療を希望するがん患者がスムーズに来日し、治療後中国でのフォローアップを問題なく扱える医師の育成をすすめるため、重粒子線治療の短期研修セミナーと施設見学を開催に向けて準備する。

IV. 国際協力事業

1. 海外での重粒子線治療施設計画等の相談支援を行う。
2. 日本で粒子線治療等を希望する海外の患者が、安心して治療を受けられるようにするため、国際協力の一環として粒子線治療施設等の医療機関並びに関係団体とも協力して医療コーディネータが紹介する中国人、韓国人等の患者の国内施設への受入れ支援を行う。

V. 各種調査・研究並びに実施事業

1. 国内外の重粒子線施設建設計画の建設予定事業者からの各種調査の受託等を行う。
2. 日本の先進医療である粒子線治療を求めて渡航受診者の訪日が増大してきており、日本で粒子線治療を希望する渡航受診者のスムーズな受入れ・治療へのシステムの確立を目指すため関係機関と協力して調査等を実施する。

VI. 関連諸施設との連携・整備の促進事業

1. 民間企業からの依頼に基づき経産省、外務省が認定する「医療滞在ビザに係る身元保証機関」の申請業務の支援を行う。
2. 新型コロナウイルスによる経営が厳しい医療コーディネータの依頼に基づき国内企業の相談支援を行う。
3. 粒子線がん相談クリニックでの外国人患者の円滑な相談支援を行うため、医師の来院及び適時に合わせて常駐して運営支援を行う